

本報記者は、大阪府の各郡市を巡回し、各地の農業者と懇話し、その苦悩を聞き取り、その解決の道を探る。大阪府の農業は、戦後、著しい発展を遂げた。しかし、近年、農産物の価格が下落し、農家の収入が減少している。これは、消費者の購買力の低下、輸入農産物の増加、および国内生産の過剰によるものである。本報は、この問題を解決するために、農業者の組織化を促進し、生産物の販売を支援する。また、農家の生活改善のために、農業融資の充実を図る。各地の農業者は、本報の活動を高く評価し、積極的に参加している。本報は、今後も、農業者の声を代弁し、農業の発展に貢献する。

農業者協同組合大阪支所

財団法人協同會大阪支所

提起シテヤレバ立派ナ農代会議ガ展開スルデアラウ。更ニ、益  
 節季ニ借金持テノカンパトシテコレヲ更ニ大衆化スルコトモ出  
 来ル。  
 養蠶地方デハ絹安、特約組合、乾繭、繭市場、製絲會社ノ支拂  
 オケレ、女工ノ賃下、不拂等ノ問題ナドデイクラデモコノ運動ハ  
 起シ得ル。又、コノ地帯デハ養蠶應急資金支拂延期ト飯米ヲ出セ  
 ノ如キ闘争題目ガアル。  
 野菜百姓ハ市場（京都府ノ如ク）問題果實デハ鐵道運賃ノ問題  
 ガアル。水害地方デハ河川改修ト損害問題ノ如クイクラデモアル  
 答ダ。  
 新潟デハ負債整理組合ヲ組織シタガコレガタメ漁村、山村ノ農  
 民ヲ可ナリ多ク動員シツツアルヤウデアアル。コレモ一ツノ「農大」  
 「農代」(本報)運動トシテ見ルコトガ出来ルガ、コレハ一般  
 的ニ益前ニ、ソノ他ノ支拂期前ニカンパトシテ一ツノ組合トシテ